令和８年度

奈良県立医科大学大学院医学研究科
（博士課程）
学生募集要項

令和８年度入学試験
第１次：令和７年 11 月４日（火）
第２次：令和８年 １月26日（月）

※ 第１次募集の結果によって、第２次募集を実施しない場合があります。
※ 第１次募集及び第２次募集の結果によって、秋入学学生募集を実施しない場合があります。

奈良県立医科大学大学院医学研究科
〒634-8521　橿原市四条町 840 番地
電 話　0744（22）３０５１　（内）2401

奈良県立医科大学大学院医学研究科
アドミッションポリシー

1　独創的な発想と科学的探求心に富み、豊かな人間性をもつ人

2　医学、医療の分野において、高度の知識、技能を習得し、地域社会に貢献する人

3　国際的な視野に立ち、高度の研究を通して医学の発展に寄与する人

4　研究、教育、臨床のいずれの分野においても指導者となる志をもつ人

令和８年度
奈良県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）学生募集要項

１　募集人員及び専攻課程　　４０名程度（第１次及び第２次の合計）

専　攻	領　域	科　目
医　科　学	社会・保健・健康医学領域	疫学、公衆衛生学、法医科学、MBT 学、医療情報・病院管理学
	生体情報・防御医学領域	生体高分子学、分子・細胞動態学、相分離生物学、分子生体構造科学、機能形態学、脳神経生理学、生体機能制御機構学、老化生物学、分子腫瘍病理学、微生物学、生体防御・修復医学、免疫学（NM コースあり）、情報伝達薬理学、発生・再生医学、血栓止血先端医学、応用医学・医療学、循環器システム医科学
	器官機能・病態制御医学領域	循環器病態制御医学、腎臓病態制御医学、呼吸器病態制御医学、血液病態制御医学、消化器病態・代謝機能制御医学、糖尿病・内分泌内科学、臨床神経筋病態学、消化器機能制御医学、脳神経機能制御医学、循環・呼吸機能制御医学、運動器再建医学（NM コースあり）、スポーツ医科学、女性生殖器病態制御医学、視覚統合医学（NM コースあり）、発達・成育医学、発生・発達医学、精神医学行動神経科学、皮膚病態医学、泌尿器病態機能制御医学、前立腺小線源治療学、耳鼻咽喉・頭頸部機能制御医学、画像診断・低侵襲治療学、放射線腫瘍学、侵襲制御・生体管理医学、臨床神経モニター学、総合臨床病態学、口腔・顎顔面機能制御医学、救急病態制御医学、病理診断学、腫瘍薬物治療学、リハビリテーション医学、臨床検査医学、血液・血流機能再建医学、感染病態制御医学、臨床実証医学、先端画像下治療開発応用学、陽子線腫瘍学、医療センシング学

※ NM コース…「奈良県立医科大学とミシガン大学医学部を代表するミシガン大学評議会との学術科学連携に関する基本合意書」（平成 30 年 12 月 13 日締結）に基づき本学大学院博士課程においてミシガン大学への留学を含めて同大学関連の研究・講義等を行う科目

㈜（ア）募集人員に社会人を含む。（医師又は歯科医師の免許の有無は問わない。）

（イ）社会人とは、企業、研究所、病院（本学附属病院の医員を含む）、官公庁等に勤務している者をいう。（なお、入学後も引き続きその身分を有することができる。）

（ウ）上記社会人には、標準修業年限（４年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修できる長期履修制度（８年）を設けている。

（エ）出願に際しては、募集人員及び研究内容について、予め志望する専攻主科目（学位論文作成の基本となる科目）の研究指導教員に問い合わせておくこと。

（オ）大学院生は奈良県立医科大学附属病院の非常勤医員になることもできる。

（カ）令和８年度第１次募集で定員を満たした場合は、第２次募集及び秋入学学生募集は実施しない。また、令和８年度第１次募集、第２次募集で定員を満たした場合は、秋入学学生募集は実施しない。

2　出　願　資　格

次の⑴～⑶のいずれかに該当する者

⑴　大学の医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程（修業年限６年のものに限る。）を卒業した者又は令和８年３月卒業見込みの者

⑵　外国において学校教育における１８年の課程（最終課程は医学又は歯学）を修了した者又は令和８年３月修了見込みの者

⑶　文部科学大臣の指定した次の①～⑤のいずれかに該当する者

①　旧大学令（大正７年勅令第３８８号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者

②　防衛省設置法（昭和２９年法律第１６４号）による防衛医科大学校を卒業した者及び令和８年３月卒業見込みの者

③　修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期２年及び後期３年の課程の区分を設けない博士課程に２年以上在学し、３０単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和４９年文部省令第２９号）による改正前の学位規則（昭和２８年文部省令第９号）第６条第１号に該当する者を含む）で、本学の大学院が、大学の医学又は歯学の学部を卒業した者（医学又は歯学を履修した者に限る）と同等以上の学力があると認めた者

④　大学（医学、歯学、獣医学又は薬学を履修する課程を除く）を卒業し、又は外国において学校教育における１６年の課程を修了した後、大学、研究所等において２年以上研究に従事した者で、本学の大学院が、当該研究の成果等により、大学の医学又は歯学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

⑤　短大、専門学校卒業者等及び、専修学校の専門課程（修業年限が４年であることその他、文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者で、本学の大学院が、⑴に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、令和８年３月３１日までに２４歳に達する者

3　出　願　期　間

第１次

令和７年１０月７日（火）～１０月１０日（金）　９時から１７時まで

郵送の場合は、１０月１０日（金）　１７時までに必着のこと。

第２次

令和８年１月６日（火）～１月９日（金）　９時から１７時まで

郵送の場合は、１月９日（金）　１７時までに必着のこと。

※第１次募集の結果によって、第２次募集を実施しない場合があります。

4　出願受付場所

〒634-8521　奈良県橿原市四条町８４０番地

奈良県立医科大学 教育支援課

ＴＥＬ　0744 － 22 － 3051　内線 2401

5　出　願　手　続

次に記載する⑴の提出書類に⑵の入学検定料振込証明書等を添えて提出すること。

⑴　提出書類

（ア）入　学　願　書　　本学所定の様式（A）

（イ）受験票・写真票　　本学所定の様式（A）
出願前３ヶ月以内に撮影した正面上半身無帽背景なし（縦４㎝×横３㎝）の写真（裏面に撮影年月日及び氏名を記入すること。）を貼ること。

（ウ）在留カード又は特別永住者証明書　　外国人のみ
出願時に日本国内に在住しない者は、受験のために有効な査証の写しを提出すること。

（エ）履　歴　書　　本学所定の様式（B）

（オ）成績証明書　　最終学歴（見込み含む）の成績証明書
出身大学（学部）長が作成の上、厳封したもの
（本学在学生は大学で発行するため提出を要しない。）

（カ）卒業又は修了（見込）証明書　　最終学歴（見込み含む）の卒業又は修了証明書
（本学在学生は大学で発行するため提出を要しない。）

（キ）宛　名　票　　合否通知書等送付先を記入すること。

（ク）志望理由書　　本学所定の様式（C）

（ケ）研究計画書　　本学所定の様式（D）により 2,000 字程度にまとめる。

（コ）研究活動歴　　本学所定の様式（E）

※出願資格審査で認定された者は、（エ）～（コ）の提出を要しない。

<u>提出上の注意</u>

<u>証明書が現姓と異なる場合は、改姓したことを証明できる公的な書類（交付３か月以内の戸籍抄本等。）を提出すること。</u>

⑵　入学検定料　30,000 円

ATM、ネットバンキングで下記振込先に振込のこと。

振込先　公立大学法人　奈良県立医科大学
　　南都銀行　橿原支店　普通口座　0266177

（注１）振込依頼人名は「志願者氏名」の前に「GMS」を付けて入力すること。
　　（例）GMS イダイタロウ

（注２）振込手数料は志願者本人の負担のこと。

（注３）振込にあたっては、下記の期間内に振込のこと。
　　第１次　令和７年 10 月７日（火）～ 10 月 10 日（金）
　　第２次　令和８年１月６日（火）～１月９日（金）

（注４）振込証明書等を入学検定料納付証明書貼付台紙に貼付け、他の提出書類と併せて提出のこと。

⑶　出願資格の認定

２出願資格に定める⑶の③、④又は⑤で出願する者は、事前に出願資格の認定が必要となるため、次のとおり申請すること。本学大学院医学研究科修士課程の修了者（見込みの者を含む。）については、認定の申請を要しない。

① 申請期間

第１次

令和７年９月１日（月）～９月５日（金）　９時から１７時まで

第２次

令和７年１２月１日（月）～１２月５日（金）　９時から１７時まで

（郵送の場合は、書留郵便で、封筒表面に「大学院出願資格審査申請書在中」と明記の上、申請期間内の１７時までに必着のこと。）

② 申請書類

（ア）出願資格審査申請書	本学所定の様式（Ｆ）
（イ）履　　歴　　書	本学所定の様式（Ｂ）
（ウ）成　績　証　明　書	最終学歴（見込み含む）の成績証明書 出身大学（学部）長が作成の上、厳封したもの
（エ）卒業又は修了（見込）証明書	最終学歴（見込み含む）の卒業又は、修了証明書
（オ）研 究 従 事 証 明 書	本学所定の様式（Ｇ）（一研究機関毎に提出を要する。） （出願資格⑶の④に該当する者）
（カ）志　望　理　由　書	本学所定の様式（Ｃ）
（キ）研　究　計　画　書	本学所定の様式（Ｄ）により 2,000 字程度にまとめる。
（ク）研　究　活　動　歴	本学所定の様式（Ｅ）
（ケ）宛　　名　　票	合否通知書等送付先を記入すること。

提出上の注意

証明書が現姓と異なる場合は、改姓したことを証明できる公的な書類（交付３か月以内の戸籍抄本等。）を提出すること。

③ 出願資格審査の方法

申請書類により行う。ただし、必要と認めたものについては、口述審査を行う。

④ 出願資格審査の結果通知

出願期間までに資格審査結果を郵送により申請者あて通知する。

6　入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、出身大学の成績証明書を資料とし、総合して行う。

学力検査

第 1 次

日		時	科目		試験場
令和７年 11月４日（火）	午前	10時00分～11時30分	英語	筆答	当日指示
	午後	13時00分～14時30分	専攻主科目 第１志望	口答	当日指示
		14時40分～16時10分	専攻主科目 第２志望		

第 2 次

日		時	科目		試験場
令和８年 1月26日（月）	午前	10時00分～11時30分	英語	筆答	当日指示
	午後	13時00分～14時30分	専攻主科目 第１志望	口答	当日指示
		14時40分～16時10分	専攻主科目 第２志望		

（注）（ア）試験場への辞書の持ち込みを認める。（電子辞書及び医学辞典を除く。）

（イ）専攻主科目の口答試験は、志願した当該主科目の研究指導教員が行う。

7　合格者発表

第１次　　令和７年１２月　９日（火）

第２次　　令和８年　３月　５日（木）

本学ホームページに掲載する。また、合格者に対しては、本人あてに通知する。

8　入学手続（詳細は２次試験合格発表後に改めて通知する。）

入学料を指定の口座に振り込み、その領収書と⑴の入学手続書類を提出すること。

⑴　入学手続書類

（ア）保証人誓約書　　本学所定の様式に保証人が連署したもの

（イ）卒業証明書　　卒業見込みで受験した者（ただし、本学学生は提出を要しない。）

（ウ）本人画像　　入学手続き前３ヶ月以内に撮影した正面上半身無帽背景なし（縦４㎝×横３㎝）の写真

（エ）就学承諾書　　在職者は、本学所定の様式に所属長が証明したもの

（オ）預金口座振替依頼書　　本学所定の様式

⑵　入学手続日時は合格発表後に改めて通知する。

9　入　　学　　料　　282,000 円

本学大学院修士課程の修了者については、公立大学法人奈良県立医科大学料金等規定に基づき入学金を徴収しない。

10　授　　業　　料　　535,800 円※　２期分納（４月、10 月）

※令和７年５月１日現在の金額であり、改訂する場合がある。また、在学中に授業料の改訂が行われた場合には、当該改訂時から新授業料が適用される。

11　大学院修学資金の貸与について

⑴　大学院入学支援修学資金

・対象者　　全ての入学者
・貸与額　　282,000 円（入学料相当額）
・貸与時期　　入学手続時
・利率　　無利子
・返還義務及び返還時期

臨床医学系（＊注）の科目を主科目として選択した者は、大学院の課程修了時に返還が必要となります。

基礎医学系（＊注）又は社会医学系（＊注）の科目を主科目として選択した者は、以下の①、②の要件を全て満たした場合は返還が免除されます。

なお、これらの要件を満たさない場合は、事由が生じた日の翌月末までに、研究活動に従事した期間にかかわらず、借入額全額の返還が必要となります。

《要件》　①　大学院の課程を修了し、引き続き基礎医学（＊注）系又は社会医学系（＊注）の専任研究者として継続して研究活動に従事した期間が５年に達し、かつその時点で課程博士の学位を取得していること。

②　毎年度当初に、従事先の在籍証明書を添付の上、前年度の研究報告書を必要年限本学に提出していること。

⑵　基礎医学等研究者確保修学資金

・対象者　　基礎医学系（＊注）又は社会医学系（＊注）の科目を主科目として選択した者
・貸与額　　年額 535,800 円（授業料相当額）
・貸与期間　　４年以内
・貸与時期　　授業料支払時（年２回：４月、10 月）
・利率　　無利子
・返還義務及び返還時期

以下の①、②の要件を全て満たした場合は返還が免除されます。

なお、これらの要件を満たさない場合は、事由が生じた日の翌月末までに、研究活動に従事した期間にかかわらず、借入額全額の返還が必要となります。

《要件》　①　大学院の課程を修了し、引き続き基礎医学系（＊注）又は社会医学系（＊注）の専任研究者として継続して研究活動に従事した期間が、貸与を受けた期間の 1.5 倍に相当する期間に達し、かつその時点で課程博士の学位を取得していること。

② 毎年度当初に、従事先の在籍証明書を添付の上、前年度の研究報告書を必要年限本学に提出していること。

※大学院修学資金の貸与を希望する者は、申請書を本学に請求し、入学手続き時に提出すること。

1）申請書の請求方法

・郵送により請求する場合

封筒に「大学院修学資金貸与申請書請求」と朱書きし、その封筒に、返信用封筒（角２号封筒）を同封（郵便番号・住所・氏名を明記して 140 円切手を貼付）の上、教育支援課医学科教務係宛に請求すること。

・大学の窓口で直接請求する場合

平日９時～ 17 時の間に、大学本部棟１階教育支援課医学科教務係まで請求すること。

2）申請書の提出方法

入学手続き時に提出すること。

＜＊注＞　主科目が、臨床医学系、基礎医学系、社会医学系のいずれに該当するかについては、９頁から 20 頁に記載の学生研究領域を参照してください。

12　課程の修了要件

本大学院に４年以上在学し、所定の科目を履修し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究実績を上げた者については、３年以上在学すれば足りるものとする。

13　そ　の　他

⑴　入学願書様式等を郵便で請求するときは、返信用として宛名及び郵便番号を明記し、郵便切手（320 円）を貼付した角型２号封筒（33㎝× 24㎝）を同封すること。（日本国内郵送のみ）

⑵　出願書類を郵送するときは、必ず書留とし、封筒に「大学院医学研究科入学願書在中」と朱書すること。

⑶　出願手続完了後は、志望主科目の変更は認めない。また、提出書類及び入学検定料の返還はしない。

⑷　受験票は、**第１次は令和７年１１月４日（火）、第２次は令和８年１月２６日（月）の、ともに午前９時から９時３０分の間（時間厳守）**に教育支援課において交付する。

⑸　出願に関する問い合わせは、教育支援課あてに電話で行うこと。なお、メールによる質問は受け付けない。

学生研究領域

医　科　学　専　攻

領域	主　科　目	研究指導教員	研　　究　　領　　域
社会・保健・健康医学領域	疫　　学 ［社会医学系］	佐伯　圭吾 大林　賢史	1．温度環境と血圧変動に関する疫学研究 2．光環境とサーカディアンリズムに関する疫学研究 3．音環境と睡眠の質に関する疫学研究 4．夜間頻尿とサーカディアンリズムに関する疫学研究 5．栄養摂取や食事時刻と肥満に関する疫学研究 6．身体活動リズムとフレイル・サルコペニアに関する疫学研究 7．入浴行動と睡眠の質に関する疫学研究 8．クロノタイプ（朝型夜型）の客観的測定法の妥当性検証 9．皮膚温リズムの季節変動に関する疫学研究 10．ADMA と全身疾患に関する疫学研究
	公衆衛生学 ［社会医学系］	今村　知明 野田　龍也	1．公衆衛生領域 ・大規模データ（ＮＤＢ，ＫＤＢ，ＤＰＣ）を用いた分析システムの構築と疫学研究 ・医療・介護・難病・障害等のデータベース（DB）連携に関する研究 ・食品防御や食品安全に関する研究 ・医療 DB と介護 DB の連結による高齢者医療介護に関する研究 2．医療政策・医療経済領域 ・国や地域での医療計画・介護事業計画を策定するための調査や政策提言 ・医療や健康の費用対効果、画像診断機器の経済性に関する研究 ・病院の経営改善に関する研究 ・診療報酬や医療の損益分岐点に関する研究 ・退院支援における医介連携に関する研究 ・医療におけるタスクシフトに関する研究
	法医科学 ［社会医学系］	粕田　承吾	1．アルコールの血管機能に関する研究 2．血管機能と内因性突然死に関する研究 3．アルコールの敗血症に及ぼす影響に関する研究 4．アルコールの血栓形成機構に及ぼす影響に関する研究
	ＭＢＴ学 ［社会医学系］	梅田　智広	1．医学知識と技術の連携によるソーシャルホスピタル構想の検討 2．IoT による環境データおよびバイタルサインの活用、評価に関する研究 3．自立型社会を目指した運営モデルおよび政策の検討 4．健康管理システム、プラットフォームに関する研究 5．医療健康データ活用によるビックデータ解析、評価手法に関する研究 6．健康管理指標・尺度の検討、疾病リスク予測に関する研究 7．リハビリ・介護支援ツールに関する研究 8．ロコモティブシンドローム、健康寿命延伸に関する対応策の検討 9．MBT によるイノベーション創出に関する研究 MBT（Medicine-Based Town）とは、 （新しく作る、または既存の）「まち」に医科大学や医師等が持つ医学の知識・叡智（MBE）を注ぎ込み、付加価値の高いまち「MBT」を差している。これまで医師は、医学の知識を患者１人１人に対して用いてきたが、医師の持つ医学の知識は膨大であり、この知識や経験をものづくり、まちづくりに生かし、新産業創生、地方創生を目指す。 IoT：Internet of Things（モノのインターネット） 　従来は主にパソコンやサーバー、プリンタなどの IT 関連機器が接続されていたインターネットにそれ以外の様々な“モノ”を接続することを意味する。

領域	主　科　目	研究指導教員	研　　究　　領　　域
社会・保健・健康医学領域	医療情報・病院管理学［社会医学系］	玉本　哲郎 水流　聡子 井上　貴裕	1．医療情報連携の戦略的な推進に関する研究 2．モバイル端末を利用した遠隔医療支援に関する研究 3．病院情報システムへの標準規格の実装に関する研究 4．患者状態適応型パスシステム（PCAPS）の有効な利活用に関する研究 5．診療情報データに基づく医療の質の改善および向上に関する研究 6．診療情報データに基づく医療安全に関する研究 7．診療情報データに基づく医療・病院マネジメントに関する研究 8．医療情報の有効な利活用を推進できる人材育成とそのキャリア支援に関する研究 9．病院管理を有効に実践できる人材育成とそのキャリア支援に関する研究
生体情報・防御医学領域	生体高分子学［基礎医学系］	酒井　宏水 山本　惠三 松平　　崇	1．人工赤血球（人工酸素運搬体）、輸血代替の創製 2．人工赤血球の生体内機能評価試験（出血性ショック、虚血性疾患モデル） 3．人工赤血球の新しい利用法の検討（臓器保存、シアン中毒解毒剤） 4．リポソームなどマイクロ・ナノカプセルの調製法の開発 5．生体高分子（酵素、ヘムタンパク質など）の精製法と化学修飾法 6．X線結晶構造解析とタンパク質工学的手法によるタンパク質の機能解析 7．新しいバイオマテリアル・医用材料に関する研究
	分子・細胞動態学［基礎医学系］	永渕　昭良 小林千余子	1．細胞質因子による細胞間接着の制御機構 2．細胞間接着による細胞増殖制御機構 3．細胞間接着による組織構築制御機構 4．細胞間接着による上皮細胞形成機構 5．細胞間接着の破綻とがん細胞の特性
	相分離生物学［基礎医学系］	森　英一朗	1．LC ドメインを介した相分離の生物学的現象 2．相分離現象の破綻による疾患発症機序 3．原子解像度による相分離の分子基盤 4．ゲノム安定性に関わる監視機構 5．オルガノイドを用いた器官形成制御
	分子生体構造科学［基礎医学系］	井上　浩一	1．血管内皮細胞の機能不全と疾患 2．光遺伝学的手法の非神経器官への応用 3．脳梗塞や精神神経疾患に関わる分子とその作用機序 4．神経組織における亜鉛の動態と重要性
	機能形態学［基礎医学系］	服部　剛志 辰巳　晃子	1．神経系細胞の発生、分化を制御する分子メカニズム 2．神経系細胞の損傷応答の分子メカニズム 3．神経回路形成におけるグリア細胞の機能解析 4．神経変性疾患の病態形成におけるグリア細胞の解析 5．損傷神経の再生促進法開発
	脳神経生理学［基礎医学系］	齋藤　康彦	1．眼球運動系の速度一位置情報変換の神経メカニズム 2．眼球運動に関与する脳幹ニューロンの電気生理学的特性

領域	主　科　目	研究指導教員	研　　究　　領　　域
生体情報・防御医学領域	生体機能制御機構学［基礎医学系］	堀江　恭二 坂野　公彦	1．ES 細胞の多能性を制御する新規遺伝子の探索 2．ES 細胞のエピジェネティクス研究 3．iPS 細胞の生成機構の研究 4．遺伝子機能を網羅的に解明するための遺伝学的手法の開発
	老化生物学［基礎医学系］	中村　修平	1．モデル生物（酵母、線虫、マウス etc.）を用いた老化・寿命制御の普遍原理解明 2．細胞内分解システム、オートファジーによる老化・加齢性疾患抑制の分子機構解明 3．リソソーム恒常性維持とその加齢による破綻の分子機構解明 4．動物の休眠と寿命制御をつなぐ共通分子機構の解明
	分子腫瘍病理学［基礎医学系］	國安　弘基	1．消化器癌を中心とするヒト癌における発癌・転移機構とそれに関与する遺伝子・遺伝子産物変化の機序の解明 2．動物モデルを用いた発癌修飾因子と遺伝子変化の検討 3．転移モデルを用いた転移機構解明と転移予防・治療 4．癌・転移における遺伝子・遺伝子産物の変化を標的とした発癌危険度診断・転移能診断の開発 5．発癌危険性を有する環境因子の解明 6．癌のエピジェネティクスと翻訳後変化の機序 7．実験動物とヒトでの発癌機序の差異 8．癌と生活スタイル及び生活習慣病との関連
	微生物学［基礎医学系］	矢野　寿一 中野　竜一	1．β－ラクタマーゼによる薬剤耐性メカニズムの解析 2．β－ラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌の分子疫学 3．市中感染菌の薬剤耐性と伝播拡散に関する研究 4．呼吸器感染症原因菌の病原性および各種薬剤耐性 5．院内感染制御に関する研究
	生体防御・修復医学［基礎医学系］	王寺　幸輝	1．ES 細胞、iPS 細胞の分化誘導研究 －肝細胞・インスリン産生細胞・ドーパミン産生細胞・内耳有毛細胞・肺上皮細胞など－ 2．モデル疾病に対する細胞移植療法 －脊髄損傷・パーキンソン病・肝臓病・糖尿病・難聴－ 3．組織幹細胞を用いた再生医療 4．発毛におけるシグナル伝達解析 5．腸管寄生線虫・原虫に対する宿主応答 6．吸虫感染症に関する研究 7．ダニ媒介性感染症に関する研究
	免疫学［基礎医学系］ ※NMコースあり	伊藤　利洋 北畠　正大	1．疾患モデルマウスを用いた免疫学的解析による病態解明 －呼吸器感染症モデル、気管支喘息モデル、肺線維症モデル、敗血症モデル、自己免疫疾患モデル、担癌モデル、炎症性腸疾患モデル等（NM コース：伊藤） 2．エピジェネティクスによる免疫調節機構の解析 －インフルエンザウイルス感染症やアレルギーを中心に（NM コース：伊藤） 3．自然免疫と獲得免疫におけるシグナル伝達解析 4．新型コロナウイルスに対する宿主免疫機構解析と新規治療薬開発 5．Non classical HLA の免疫学的多能性解析

領域	主科目	研究指導教員	研究領域
生体情報・防御医学領域	情報伝達薬理学［基礎医学系］	吉栖　正典 中平　毅一	1．酸化ストレスによる動脈硬化発症機序の解明 2．自然食品成分を含む新規動脈硬化予防薬の開発 3．脈管作動物質による血管リモデリングと高血圧・動脈硬化進展機構の解明 4．血管新生の分子メカニズムの解明とその薬理学的制御 5．血管平滑筋細胞におけるインスリン抵抗性に関わる細胞内情報伝達機構の研究 6．敗血症の発症機序の解明 7．ミトコンドリアが免疫および炎症に及ぼす影響
	発生・再生医学［基礎医学系］	栗本　一基	1．組織学に統合された単一細胞オミクス解析技術の開発 2．生殖細胞の発生機構の研究 3．生殖細胞の品質管理機構の研究 4．始原生殖細胞におけるエピゲノムリプログラミング機構の研究 5．始原生殖細胞の潜在的多能性維持機構の研究
	血栓止血先端医学［基礎医学系］	辰巳　公平	1．炎症性疾患における凝固線溶因子の関与に関する研究 2．代謝性疾患における凝固線溶因子の関与に関する研究 3．未熟児疾患における凝固線溶因子の関与に関する研究 4．加齢と凝固線溶因子の関連についての研究 5．間葉系幹細胞、ES 細胞、iPS 細胞を用いた血液凝固異常症治療に関する研究 6．がん関連血栓症の分子病態機序の解明に関する研究 7．臓器連関における凝固線溶機構の関与の解明
	応用医学・医療学［基礎医学系］	吉栖　正典 菓子野元郎 金子　涼輔 米田　明弘	1．放射線による生物影響の解明 2．放射性物質を利用した臨床応用のための基礎研究 3．脳の個体発生ならびに系統発生に関する研究 4．脳の機能化原理の解明と精神・神経疾患への治療応用に関する研究 5．難治性疾患に対する核酸治療 6．疾患モデル動物の医学研究への応用
	循環器システム医科学［基礎医学系］	小亀　浩市 中川　　修	1．血球・凝固線溶系を中心とした心血管系の機能調節機構 2．心血管系の発生・形態形成におけるシグナル伝達と転写調節の意義 3．先天性心疾患・遺伝性血管病・凝固異常症の病因・病態メカニズム
器官機能・病態制御医学領域	循環器病態制御医学［臨床医学系］	彦惣　俊吾	1．心不全成因の分子機序の解明 2．心不全、急性心筋梗塞の登録研究 3．心筋症の遺伝子解析とそれに立脚した診断法の確立 4．心筋生検組織を用いた臨床研究 5．光干渉断層法を用いた冠動脈疾患の病態解明に関する研究 6．脂質低下療法の冠動脈硬化への影響に関する研究 7．心不全の新規分類法とそれに基づく新たな治療体系に関する研究 8．MRI を用いた心血管画像診断法に関する研究 9．AI を用いた画像解析技術の開発 10．心不全診療における植込み型心電計を用いた不整脈検出の有用性に関する研究 11．循環器疾患におけるオートファジーの役割に関する研究 12．循環器疾患におけるエクソソームの病態的意義に関する研究

領域	主　科　目	研究指導教員	研　　究　　領　　域
器官機能・病態制御医学領域	腎臓病態制御医学［臨床医学系］	鶴屋　和彦 鮫島　謙一 江里口雅裕	腎臓病およびその合併症の病態と機序を解明することを目的として基礎研究と臨床研究を行う。 1．慢性腎臓病の進展に及ぼす間質線維化の関与 2．ネフローゼ症候群における尿細管障害の関与 3．慢性腎臓病の発症・進展に及ぼす脂質異常症の関与 4．術後の急性腎障害に及ぼす因子の検討 5．慢性腎臓病の血管石灰化の機序の解明 6．特定健診データを用いた慢性腎臓病患者の生命予後・腎予後に関する検討 7．糖尿病性腎症における腎生検病理所見と腎予後との関係 8．心腎連関に及ぼす交感神経系の関与
	呼吸器病態制御医学［臨床医学系］	室　　繁郎 山内　基雄 本津　茂人 山本　佳史 藤田　幸男 谷村　和哉	1．慢性肺疾患における幹細胞移植治療の開発 2．呼吸器疾患の新規画像診断法の開発 3．COPD の発症要因・栄養代謝障害の解析と新規治療法開発 4．睡眠時無呼吸症候群の疾患多様性と個別化治療の確立に向けての研究 5．肺癌の発生・進展に関する分子機構の解明 6．肺癌に対する個別化医療の構築 7．間質性肺炎の生理学的検討
	血液病態制御医学［臨床医学系］	松本　雅則 久保　政之	1．骨髄増殖性腫瘍（MPN）による血栓症、出血事象の病態解析 ・MPN に伴う後天性 von Willebrand 症候群 (AVWS) の病態解析 ・MPN における血栓および出血リスクの新規評価法の開発 ・MPN における血小板機能の解析 2．造血幹細胞移植における合併症の病態解析 ・移植関連血栓性微小血管症（TA-TMA）、類洞閉塞症候群（SOS）の病態解析と早期診断マーカーの検討 ・移植後合併症における補体の関与に関する病態解析 3．血液悪性腫瘍およびその治療薬に伴う血栓性、出血性合併症の病態解析と治療法の検討 4．血栓性血小板減少性紫斑病（TTP）における ADAMTS13 新規迅速診断法の開発
	消化器病態・代謝機能制御医学［臨床医学系］	吉治　仁志 美登路　昭 浪﨑　　正 鍛治　孝祐	1．腹水・特発性細菌性腹膜炎の病態解析 2．エンドトキシン、自然免疫と消化器疾患 3．肝・胆・膵障害における ADMTS13 動態 4．肝再生医学（ES 細胞から肝幹細胞へ） 5．非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）の病態解析 6．肝癌の抗血管新生療法 7．肝線維化の病態解析 8．急性肝不全の病態と治療 9．肝疾患における肝内輸送蛋白 10．高齢者消化器疾患の病態と治療

領域	主　科　目	研究指導教員	研　　究　　領　　域
器官機能・病態制御医学領域	糖　尿　病・内分泌内科学［臨床医学系］	高橋　　裕 岡田　定規	1．National Database などレセプトビッグデータを利用した糖尿病・内分泌代謝疾患コホート研究 2．内分泌代謝疾患特に下垂体・副腎疾患、糖尿病の病因・病態の解明 3．内分泌 irAE の病因・病態の解明 4．糖尿病治療における QOL、治療効果、予後改善を目指すコホート研究 5．糖尿病医療学 6．下垂体腫瘍、抗 PIT-1 下垂体炎（抗 PIT-1 抗体症候群）など下垂体疾患の病因・病態の解明と治療法の開発 7．疾患 iPS 細胞を用いた下垂体疾患モデルの作成と病因・病態の解析
	臨床神経筋病態学［臨床医学系］	杉江　和馬 形岡　博史 斎藤こずえ 泉　　哲石 桐山　敬生	1．神経筋疾患に関する遺伝情報からの臨床分類と病態解析 2．神経筋疾患における病理学的手法を用いた病態解析 3．神経筋疾患におけるオートファジー機構の解明 4．パーキンソン病関連疾患における病態解析 5．中枢神経感染症における病因解明と治療に関する研究 6．脳血管障害における頭頸部血管の画像解析 7．中枢神経系免疫疾患における発症機序と病態の解明 8．神経筋疾患における電気生理学的手法を用いた病態解析
	消化器機能制御医学［臨床医学系］	庄　　雅之 小山　文一 赤堀　宇広 安田　里司	1．消化器癌・乳癌の発生、進展、転移に関する分子生物学的研究 2．消化器癌・乳癌に対する低侵襲・機能温存手術開発に関する研究 3．消化器癌・乳癌に対する新たな化学療法、免疫療法に関する研究 4．炎症性腸疾患の病態と治療に関する研究 5．癌集学的治療における新規治療法の開発 6．小児外科疾患に関する基礎的・臨床的研究
	脳神経機能制御医学［臨床医学系］	中川　一郎 朴　　永銖 西村　文彦 山田　修一 竹島　靖浩	1．脳虚血の病態生理に関する基礎的研究 2．脳静脈灌流障害の病態生理に関する基礎的研究 3．神経細胞低酸素障害に関する基礎的研究 4．てんかん発現性に関する基礎的および臨床的研究 5．脳波発生機序に関する基礎的研究 6．脊髄障害に関する基礎的研究：脊椎変性疾患での疼痛、しびれの原因追求の研究 7．脳腫瘍の発現に関する基礎的研究 8．硬膜動静脈瘻の発生に関する基礎的研究 9．不随意運動症の治療における臨床的および基礎的研究
	循環・呼吸機能制御医学［臨床医学系］	細野　光治 濱路　政嗣	1．弁膜症手術手技に関する研究 2．虚血性心疾患手術に関する研究 3．人工心臓、補助循環に関する研究 4．心臓移植、再生治療に関する研究 5．低侵襲心臓大血管手術に関する研究 6．心臓大血管手術における臓器虚血再灌流傷害 (特に心臓、脊髄) に関する研究 7．肺・縦隔悪性腫瘍の発生・転移・再発に関する基礎的・臨床的研究 8．肺・縦隔悪性腫瘍に対する低侵襲手術に関する研究 9．胸部外科領域における小循環機能に関する基礎的・臨床的研究 10．胸部外科領域における変性性肺疾患（気腫肺・肺線維症）に関する基礎的・臨床的研究

領域	主科目	研究指導教員	研究領域
器官機能・病態制御医学領域	運動器再建医学［臨床医学系］＊NMコースあり	谷口　晃 面川　庄平 朴木　寛弥 城戸　顕 小川　宗宏 河村　健二 重松　英樹 稲垣　有佐	1．骨・関節を中心とする運動器疾患の病態の解明（NMコース：河村） 2．退行性疾患のバイオメカニカルな成因の解明 3．間葉系幹細胞を用いた骨再生の実験的研究 4．骨髄細胞を用いた再生骨の臨床応用の拡大 5．間葉系幹細胞からの軟骨再生の開発と臨床応用 6．整形外科的人工材料の開発と臨床応用 7．関節リウマチの新しい外科的治療法の開発（NMコース：河村） 8．骨折治癒過程の解明と新しい治療法の開発 9．筋腱付着部症の解明と新たな治療法の臨床応用 10．荷重関節の人工関節の新たな開発と展開 11．肉腫の病態と解明及び治療への幹細胞生物学の応用と展開 12．マイクロサージャリー技術を用いた四肢再建のための新しいドナーの開発 13．骨関節再建のためのマイクロサージャリーと再生医療の融合 14．運動器領域における超音波ガイド下手技の開発 15．手外科・マイクロサージャリーに関する臨床研究（NMコース：河村） 16．新しいリハビリテーションアプローチの開発
	スポーツ医科学［臨床医学系］	小川　宗宏	1．画像解析による膝スポーツ外傷の病態解明と新しい治療法の確立 2．超音波画像解析によるスポーツ傷害特性に関する研究 3．運動器の解剖、バイオメカニクスに関する研究 4．人工靱帯や難治性疲労骨折に対する再生医療の応用に関する基礎研究 5．地域貢献を加味したスポーツ傷害予防検診・介入の有用性に関する研究 6．医工連携による運動器の機能評価の定量評価システム開発に関する研究
	女性生殖器病態制御医学［臨床医学系］	木村　文則 川口　龍二 前川　亮	1．がん転移抑制剤を用いた医師主導型臨床治験の実施に関する研究 2．がん転移抑制剤を用いた卵巣癌遺伝子治療に関する基礎研究 3．量子化学計算に基づくがん転移抑制剤の創薬システムの開発 4．婦人科癌の浸潤メカニズムの解明 5．抗がん剤薬剤感受性規定遺伝子群の解明 6．子宮内膜症の悪性化に関与する遺伝子群の解明 7．家族性子宮体癌の遺伝子解析および原因遺伝子の解明 8．子宮頚部悪性腺腫及びその類縁疾患の実態調査および診断基準の作成 9．卵巣癌早期発見のための集団検診実施に関する研究 10．妊娠中の膣内細菌叢と妊娠予後との関連性とそのメカニズム解析 11．子宮内細菌叢の形成のメカニズム解析 12．子宮内炎症と子宮内細菌叢異常の妊娠成立および妊娠予後への影響とそのメカニズム解析 13．子宮内膜症進展防止および症状緩和に関する研究 14．がん患者に対する卵巣凍結保存の有効性に関する研究 15．がん患者の卵巣凍結保存方法および自家移植の開発に関する研究
	視覚統合医学［臨床医学系］※NMコースあり	加瀬　諭 西　智 辻中　大生	1．網膜色素上皮とサイトカインの研究 2．小児の視機能の発達の研究 3．加齢黄斑変性の発症機序の研究 4．加齢黄斑変性と黄斑円孔の治療研究 5．糖尿病網膜症の発症機序の研究 6．糖尿病網膜症の治療研究 7．網膜神経保護の研究 8．眼血流の研究 9．高齢者の視機能に関するコホート研究 10．眼疾患が概日リズムに及ぼす影響 11．眼腫瘍の臨床病理学的研究

領域	主　科　目	研究指導教員	研　　究　　領　　域
器官機能・病態制御医学領域	発達・成育医学［臨床医学系］	野上　恵嗣 荻原　建一	1．先天性出血性疾患（血友病，VWD 等）の病因、病態に関する生化学的・分子生物学的研究 2．先天性血栓性疾患（AT, PC, PS, ADAMTS-13 各欠乏症等）の病因・病態に関する生化学的、分子生物学的研究 3．後天性出血性・血栓性疾患の病因・病態に関する研究 4．生理的および病的血栓形成の解析 5．血友病の生体部分肝移植及び遺伝子治療・細胞治療に関する研究 6．新生児・未熟児の出血症・血栓症に関する研究 7．先天性・遺伝性疾患に関する臨床遺伝学的 (遺伝カウンセリングを含む) 研究
	発生・発達医学［臨床医学系］	内田優美子	1．新生児脳室内出血の血液凝固機構からの病態解析 2．早産児ビリルビン脳症の病態解析
	精神医学 行動神経科学［臨床医学系］	岡田　　俊 山内　崇平	1．精神疾患の早期介入技法の確立に関する研究 2．児童青年期精神疾患の神経生理学的研究 3．精神疾患へのニューロモデュレーション研究 4．精神疾患の認知リハビリテーション研究 5．老年期精神疾患の病態に関する脳画像・神経生理学的研究 6．強度行動障害に対する介入技法に関する研究 7．動物モデルや細胞組織学を用いた精神疾患モデル研究 8．遺伝子発現と環境要因操作による動物モデルを用いた研究 9．神経発達症の病態研究・認知神経科学研究 10．メンタルヘルスリテラシーとスティグマ研究 11．大規模臨床情報の人工知能（AI）解析
	皮膚病態医学［臨床医学系］	新熊　　悟 桑原　理充 宮川　　史	1．アトピー性皮膚炎における自然免疫の役割の解明と新規治療法の開発 2．アレルギー性皮膚疾患と微生物との関わりについての研究 3．重症薬疹の発症機構についての研究と新しい診断法の開発 4．新規帯状疱疹ワクチンの開発 5．SLE の病態解明 6．皮膚コラーゲン線維の配向性に関する研究 7．皮膚付属器腫瘍に関する免疫組織化学的検討 8．皮膚科領域における超音波検査の有用性についての検討 9．汗孔角化症の新規治療の開発 10．遺伝性皮膚疾患の病態解明 11．表皮水疱症の病態解明と再生医療・遺伝子治療の開発

領域	主　科　目	研究指導教員	研　　究　　領　　域
器官機能・病態制御医学領域	泌尿器病態機能制御医学［臨床医学系］	藤本　清秀 田中　宣道 米田　龍生 三宅　牧人	1．排尿機能に関する研究 ・テレメトリーシステムを用いた新しい総合排尿機能検査機器の開発 ・夜間多尿と体内水分分布に関する研究：生体インピーダンス法を用いた体組成分析 2．腎不全・臓器移植に関する研究 ・腎移植・透析合併症における腸内細菌に関する研究 ・至適透析療法に関する研究：生体インピーダンス法を用いた体組成分析 3．腎細胞癌に関する研究 ・3D 画像解析法を用いた腎手術術後腎機能の予測に関する研究 ・サイトカインと分子標的薬の併用療法開発のための免疫学的機構の研究 4．尿路上皮癌に関する研究 ・光力学的診断とその治療応用に関する研究 ・尿路上皮癌の遺伝子解析 5．前立腺癌に関する研究 ・放射線感受性増強に関する研究 ・前立腺癌に対する化学予防の開発 6．睡眠障害と排尿障害の相互関係の研究
	前立腺小線源治療学［臨床医学系］	田中　宣道 藤本　清秀 浅川　勇雄 中井　　靖	前立腺癌に対する 1．低線量率小線源治療、高線量率小線源治療に関する治療効果向上、生活の質（QOL）維持、有害事象軽減に関する研究 2．小線源治療を用いた focal therapy に関する研究 3．放射線修飾物質に関する研究
	耳鼻咽喉・頭頸部機能制御医学［臨床医学系］	北原　　糺 上村　裕和 西村　忠己	1．耳鳴の発生部位と発生機序の研究 2．ストレスとメニエール病に関する研究 3．平衡障害の病態と治療に関する研究 4．スポーツ感覚医学に関する研究 5．中耳真珠腫の発生機序の解明と手術法の開発に関する研究 6．超音波聴覚の基礎的研究 7．超音波補聴器の開発に関する研究 8．難聴者に対する語音聴力の評価と補聴に関する研究 9．頭頸部癌に関する分子生物学的研究 10．甲状腺と唾液腺に関する基礎的・臨床的研究
	画像診断・低侵襲治療学［臨床医学系］	田中　利洋 西尾福英之 市橋　成夫	1．脳神経領域の画像診断に関する研究 2．胸部画像診断と IVR に関する研究 3．肝・胆・膵の MRI に関する研究 4．肝腫瘍に対する化学塞栓療法に関する研究 5．膵癌に対する動注化学療法に関する研究 6．閉塞性動脈疾患の画像診断と低侵襲治療に関する研究 7．大動脈瘤の画像診断とステントグラフト治療に関する研究 8．人工知能（AI）を用いた画像診断 9．最新鋭の超音波装置を用いた画像診断 10．IVR デバイス開発と基礎研究 11．新規造影剤開発に関する研究 12．がん免疫と微小環境に関する研究

領域	主　科　目	研究指導教員	研　　究　　領　　域
器官機能・病態制御医学領域	放射線腫瘍学 ［臨床医学系］	礒橋　文明 玉本　哲郎	1．放射線治療における LQ モデルと線量分割に関する研究 2．高精度放射線治療の放射線生物学的、放射線物理学的研究 3．重粒子線治療・陽子線治療の放射線生物学的研究 4．肺癌の放射線治療の最適化に関する研究 5．前立腺癌の小線源治療の最適化に関する研究 6．脳腫瘍の放射線治療の最適化に関する研究
	侵襲制御・生体管理医学 ［臨床医学系］	川口　昌彦 林　　浩伸 惠川　淳二 内藤　祐介 田中　暢洋	1．脳脊髄保護に関する研究 2．脳脊髄モニタリングに関する研究 3．術後合併症に関する検討 4．周術期管理の安全性と質に関する研究 5．気道管理に関する検討 6．疼痛管理と癌に関する研究 7．慢性疼痛に関する研究
	臨床神経モニター学 ［臨床医学系］	川口　昌彦 中川　一郎 林　　浩伸 重松　英樹	1．周術期の脳波に関する研究 2．脳神経モニタリングに関する臨床研究 3．脳神経モニタリングに関する基礎研究 4．脳脊髄における循環代謝モニターに関する研究 5．脳神経モニタリングにおける機器の開発研究
	総合臨床病態学 ［臨床医学系］	吉本　清巳 矢田　憲孝 大野　史郎 森田　貴義	1．総合診療実践理論に関する研究 2．理学的所見の臨床的意義に関する研究 3．血栓止血学的な観点からの各種病態解析 4．マウスなどを用いた各種病態解析 5．膠原病に関する病態生理学的研究 6．災害時の医療活動に関する研究 7．医療におけるプライマリ・ケアの効果の研究 8．プライマリ・ケア環境における疫学・診断・治療に関する臨床的研究 9．チーム構築・情報共有・サービス提供体制などに関する医療提供体制の研究 10．医学教育・生涯学習に関する教育の研究
	口腔・顎顔面機能制御医学 ［臨床医学系］	山川　延宏 柳生　貴裕	1．口腔癌に対する最小侵襲治療と機能温存に関する研究 2．口腔進展癌に対する術前治療に関する基礎的および臨床病理組織学的研究 3．骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の予防に関する基礎的臨床的研究 4．口腔前癌病変の悪性化に関する研究 5．口腔顎顔面再建に関する臨床的研究 6．顎関節症の病態と治療に関する基礎的および臨床的研究 7．口腔乾燥症患者の口腔管理に関する臨床的研究 8．全身疾患を有する患者の口腔管理に関する臨床的研究 9．口腔外科処置時の鎮静法についての臨床的研究 10．構音および嚥下、摂食障害についての臨床的研究 11．バイオメカニクスに基づいた上下顎骨の固定法に関する研究 12．顎顔面の発生に関する基礎的研究 13．顎顔面骨の tissue engineering を用いた再生医療に関する基礎的研究

領域	主　科　目	研究指導教員	研　　究　　領　　域
器官機能・病態制御医学領域	救急病態制御医学［臨床医学系］	福島　英賢	1．院外心肺停止における病院前救護の質に関する研究 2．血流感染における病原菌の迅速診断に関する研究 3．救急集中治療領域における血液凝固に関する研究 4．病院前救急における地理情報を用いた空間分析研究 5．急性腎障害に対する早期血液浄化法導入に関する研究
	病理診断学［臨床医学系］	吉澤　明彦 武田麻衣子 内山　智子	1．外科材料、細胞診材料および剖検材料を用いた臨床病理学的研究 ・病理組織学的、形態学的研究 ・免疫組織化学的研究 ・分子病理学的研究 2．深層学習を用いた病理画像解析 ・弱教師データを用いた形態認識アルゴリズム開発 ・Multiscale network を用いた腫瘍グレーディングの検討 3．ヒト腫瘍細胞を用いた分子細胞生物学的解析による疾患メカニズムの解明 ・腫瘍の発生・進展に関する分子生物学的研究 ・Epigenetic な腫瘍関連遺伝子の検索
	腫瘍薬物治療学［臨床医学系］	武田　真幸	1．癌の発生・進展・予後に関する分子機構の解明 2．ゲノム医療で同定される新規遺伝子変異の機能解析 3．ドライバー陽性腫瘍に於ける耐性機序の解明 4．臓器横断的な新薬開発 5．ゲノム薬理学的研究 6．支持・緩和領域の標準化に資する研究
	リハビリテーション医学［臨床医学系］	城戸　　顕 稲垣　有佐 石田由佳子	1．リハビリテーション医学教育学（チーム医療教育開発を含む） 2．がんの複合障害に基盤を置くリハビリテーション治療（impairment-driven cancer rehabilitation）の開発 3．虚弱高齢者の身体活動特性に関する研究 4．血友病・変形性関節症等（運動器）リハビリテーションの研究 5．動作（再）獲得の過程における「面白さ」に関する研究 6．健康寿命の延伸に効果的な「アクティビティ」が組み込まれた生活モデルの解析
	臨床検査医学［臨床医学系］	水野　麗子	1．臨床検査情報のユーザビリティーに関する研究 2．Ｂ型肝炎再活性化対策に関する研究 3．心エコー図法を用いた心不全の病態解析

領域	主　科　目	研究指導教員	研　　究　　領　　域
器官機能・病態制御医学領域	血液・血流機能再建医学［臨床医学系］	松本　雅則 酒井　和哉	1．TMA（血栓性微小血管症）の病態解析 ・日本国内の TMA registry ・先天性 TTP（血栓性血小板減少性紫斑病）患者における ADAMTS13 遺伝子解析 ・TTP に対する新規治療薬の開発 ・造血幹細胞移植後 TMA の病態解析 2．von Willebrand 病の診断と治療 3．後天性 von Willebrand 症候群（AVWS）の病態解析 ・骨髄増殖性腫瘍における AVWS の病態解析 ・循環器疾患に伴う AVWS の病態解析 ・抗 ADAMTS13 抗体による AVWS 治療薬の開発 4．ずり応力下における VWF/ADAMTS13 解析 5．肝疾患における VWF/ADAMTS13 解析
	感染病態制御医学［臨床医学系］	笠原　　敬 今北菜津子	1．新型コロナウイルスに関する研究 2．感染症における宿主と微生物の相互関係に関する研究 3．呼吸器感染症に対する生体防御機構の解明とその制御に関する研究 4．薬剤耐性微生物に及ぼす抗菌化学療法の生物学的作用に関する研究 5．HIV 感染症の病態と治療に関する研究 6．深在性真菌症の早期診断と集学的治療に関する研究 7．薬剤耐性菌の分子疫学的研究 8．抗菌薬の適正使用に関する研究 9．医療関連感染症防止に関する研究 10．感染防止技術の社会実装に関する研究
	臨床実証医学［臨床医学系］	笠原　正登 浅田　　潔 倉上　弘幸 武内　治郎	1．企業治験・医師主導治験実施および支援に関する研究 2．市販後臨床研究の実施および支援に関する研究 3．コホート研究実施および支援に関する研究
	先端画像下治療開発応用学［臨床医学系］	穴井　　洋	画像下治療（Interventional Radiology; IVR）における新規医療機器・用具の開発ならびに応用について研究する。 1．凍結治療やラジオ波凝固療法などの局所穿刺治療について基礎的な検討 2．カテーテルやステントなどの新規医療機器の基礎的検討と開発 3．IVR における支援画像の開発・応用 4．新規医療機器、支援画像の臨床応用
	陽子線腫瘍学［臨床医学系］	吉村　　均	1．陽子線治療における Dual energy CT を用いた飛程計算に関する研究 2．Off-line PET を用いた体内での飛程測定に関する研究 3．陽子線の生物学的効果比に関する研究 4．陽子線治療における中性子による影響に関する研究 5．In-room CT を用いた治療毎の再現制度に関する研究 6．In-room CT と超音波画像で求めた膀胱容量の差異に関する研究 7．陽子線治療のロバスト治療計画に関する研究 8．陽子線治療と光子線治療の線量分布比較に関する研究
	医療センシング学［基礎医学系］	山本　貢平 児玉　秀和	1．骨伝導、軟骨伝導および気導音の機構と軟骨伝導補聴器の最適構造 2．補聴器と電気音響変換器を組み合わせた生体信号検出

A

奈良県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）入学願書
（第　　次）

※受験番号	第　　号

ふりがな		性別	男　女
氏　名			
生年月日	年　月　日生	満年令	才
出身大学名	年　月　日卒業、卒業見込		
医師国家試験	年　月　日　合格		
志望専攻	第一志望	専攻　領域 （科目：　学）	
	第二志望	専攻　領域 （科目：　学）	
外国語試験受験科目	英　語		
連絡先	〒 MAIL　TEL		
その他の連絡先	ふりがな		
	氏　名		
	住　所	〒 TEL	

貴学大学院医学研究科に入学を志望しますので所定の書類を添えて提出いたします。

年　月　日

奈良県立医科大学長　殿

氏名（自署）

※は記入しないこと

奈良県立医科大学大学院医学研究科
（第　　次）

受　験　票

※受験番号	
ふりがな	
氏　　名	
	科　　目　　名
第一志望	
第二志望	
外 国 語	英　　語
この票を受験中は必ず机上に置くこと	

※は記入しないこと

奈良県立医科大学大学院医学研究科
（第　　次）

写　真　票

※受験番号	
ふりがな	
氏　　名	

出願前３ヶ月以内に撮影した正面上半身無帽背景なし（縦４㎝×横３㎝）の写真（裏面に撮影年月日及び氏名を記入すること）を貼ってください

※は記入しないこと

B

履　　歴　　書

ふりがな				性別
氏　　名				男・女
生年月日		年　　月　　日生		
本籍	都道府県	現住所	TEL	
学歴（高校卒業から記入）	年	月		
職歴	年	月		
賞　　罰				

上記のとおり相違ありません

年　　月　　日

氏　名（自署）

C

志　望　理　由　書

氏　　名	

奈良県立医科大学大学院医学研究科

注：本様式に直接記入するか、本様式（A４版）に準じてパソコン等により作成すること。

D

研　究　計　画　書

氏　　名	

奈良県立医科大学大学院医学研究科

研　究　課　題	
研究計画概要	

注：研究計画の概要を 2,000 字程度にまとめ、本様式（Ａ４版）に準じてパソコン等により作成すること。

E

研　究　活　動　歴

氏　　名	

奈良県立医科大学大学院医学研究科

年　　月	事　　項

注：１．学会及び社会における活動等（各種団体や委員会等の委員）について、団体名、役職名、活動内容（研究発表等を含む。）及び期間を年次順に記入すること。
注：２．本様式に直接記入するか、本様式（Ａ４版）に準じてパソコン等により作成すること。

F

奈良県立医科大学大学院医学研究科（博士課程）
出願資格審査申請書

※番号	第　　号

ふりがな		性別	男　女
申請者氏名			
生年月日	年　月　日生	満年齢	才
最終学歴	年　月　日卒業、卒業見込		
資格	年　月　日		
	年　月　日		
志望専攻	第一志望	専攻　領域 （科目：　学）	
	第二志望	専攻　領域 （科目：　学）	
連絡先	〒 MAIL　TEL		
その他の連絡先	ふりがな		
	氏名		
	住所	〒 TEL	

貴学大学院医学研究科の出願資格審査について、所定の書類を添えて申請いたします。

年　月　日

奈良県立医科大学長　殿

申請者氏名（自署）

※は記入しないこと

G

研 究 従 事 証 明 書

志願者氏名

研究機関名	
研 究 期 間	年　月　日 ～　年　月　日 年　月　日 ～　年　月　日 年　月　日 ～　年　月　日
研究の内容	
業 績 目 録	

上記のとおり相違ないことを証明します。

年　月　日

研究機関名

研究機関の長　印

＊ 一研究機関ごとに作成

受験番号	※

入学検定料納付証明書貼付台紙

ふりがな
氏　名

入学検定料納付証明書貼付欄

こちらに貼付ください。

注）・**振込証明書等を貼付欄に貼付のこと。**
・※印欄は記入しないこと。

宛 名 票

□□□□□□□

殿

※

（注意）

1．合格通知書等送付先を記入してください。

2．※印欄は記入しないでください。